

広報ひこね

2002

9 / 15



安食中町付近を走る路線「稲枝市立病院線」



青木さん（安食中町のバス停で）

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、困情情報政策課広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

長年の夢がかないました。私たちの地域に、初めてバスが通うようになりました。復古調のバスが農村地帯を行くのは、本当にいいですね。旧亀山村が昭和31年9月30日に彦根市と合併してから、実に46年目のことなのです。亀山村議会議長であった私の伯父は、彦根市への合併の際、苦勞をしたと聞きました。泉下の伯父が苦笑していることでしょうか。うれしくて、私と妻は7月1日6時54分の一番バスに初乗りしました。乗客は私たち二人だけでした。大人1人200円で、新市立病院まで乗れます。河瀬駅や南彦根駅、ビバンティなどへ行くのにずいぶん便利になりました。福祉保健センターや文化プラザも経由するので、このバス路線は福祉や文化にも大いに貢献すると思います。

青木喜徳郎さん（安食中町）

表紙のことば